

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102-137	高等学校	数学科	数学Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
183 第一	数Ⅱ 714 数Ⅱ 715	新編数学Ⅱ 新編数学Ⅱサポートブック		

1. 編修の基本方針

- ①既習事項の確認ができるサポートブックを用意し、数学の系統性が実感できるようにし、既習事項をもとに主体的に見通しをもって本冊の学習に取り組めるようにした。
- ②記述や題材を工夫することで、当該科目に関する知識や技能、数学的な見方・考え方を確実に身につけ、それらを活用して思考・判断・表現する能力を伸ばすことができるようにした。
- ③1つの題材に対して複数の考え方があることを適宜示し、いろいろな立場を尊重する態度を養うことができるようにした。
- ④生活に関連のある題材や、数学を発展させた先人の業績について扱うことで、数学に対する興味・関心を高め、社会の形成・発展に主体的に関わろうとする態度を養うことができるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1 章 式と証明 課題学習	<ul style="list-style-type: none"> ・パスカルの三角形に隠された性質を扱い、真理を求める態度を養えるようにした(第1号)。 ・生活との関連を重視し、売り上げの平均伸び率に関する課題を扱った(第2号)。 	<p>本冊 p. 3</p> <p>本冊 p. 28</p>
2 章 複素数と方程式 課題学習	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養えるようにした(第3号)。 ・数学の歴史に関する内容を扱い、数学を発展させた先人たちの業績に触れることで、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにした(第5号)。 ・1つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養えるようにした(第3号)。 	<p>本冊 p. 48</p> <p>本冊 p. 49</p> <p>本冊 p. 42</p>
3 章 図形と方程式 課題学習	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養えるようにした(第3号)。 ・数学の歴史に関する内容を扱い、数学を発展させた先人たちの業績に触れることで、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにした(第5号)。 ・身近な題材を扱うことで、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるようにした(第2号)。 	<p>本冊 p. 58, 77</p> <p>本冊 p. 80</p> <p>本冊 p. 92</p>

4章 三角関数 課題学習	<ul style="list-style-type: none"> 1つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養えるようにした(第3号)。 1つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養えるようにした(第3号)。 	<p>本冊 p. 113</p> <p>本冊 p. 128</p>
5章 指数関数・対数関数 課題学習	<ul style="list-style-type: none"> 1つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養えるようにした(第3号)。 身近な題材を扱うことで、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるようにした(第2号)。 生活との関連を重視し、日常生活の中にある指数・対数に関する話題を扱った(第2号)。 折りたたんだ紙の厚さに関する課題を扱い、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにした(第1号)。 	<p>本冊 p. 139</p> <p>本冊 p. 151</p> <p>本冊 p. 154</p> <p>本冊 p. 153</p>
6章 微分と積分 課題学習	<ul style="list-style-type: none"> 生活との関連を重視し、箱の容積に関する話題を扱った(第2号)。 数学の歴史に関する内容を扱い、数学を発展させた先人たちの業績に触れることで、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにした(第5号)。 コンピュータと3次関数のグラフに関する課題を扱い、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにした(第1号)。 	<p>本冊 p. 174</p> <p>本冊 p. 195</p> <p>本冊 p. 178 - 179</p>
本冊巻末	<ul style="list-style-type: none"> 数学の歴史に関する内容を扱い、数学を発展させた先人たちの業績に触れることで、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにした(第5号)。 	<p>本冊 p. 231</p>
サポートブック	<ul style="list-style-type: none"> 生活との関連を重視し、天秤のつり合い、電車と自動車の速さに関する課題を扱った(第2号)。 	<p>サポートブック p. 6 - 7, 14 - 15</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・本冊の各項目が主体的に取り組めるように「学習のねらい」を設けた。
- ・読みにくい漢字には積極的にルビを添え、一般的な教養も身に付くよう配慮した。
- ・思考力、表現力、判断力を育成するために、協働的に取り組む「考えてみよう」、「話し合ってみよう」、「説明してみよう」、「調べてみよう」を本文や節末の課題学習などに設けた。
- ・動的な解説や試行錯誤することが深い理解につながる場面に、自由に利用できるコンテンツを用意した。
- ・生徒や先生のキャラクターを登場させ、親しみやすい教科書となるようにした。
- ・基本的な知識と技能を習得するために、本冊の節末に「確認問題」、巻末に「補充問題」を設けた。
- ・各章の学習内容を応用したり組み合わせたりして解く、挑戦しがたいのある問題を本冊巻末の「総合演習」で扱った。
- ・巻末に、教科書で扱っている全ての問題の解答を掲載し、学習したことを確認できるようにした。
- ・本冊巻末のさくいんでは検索性を上げるため、用語に公式や図を添えた。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102-137	高等学校	数学科	数学Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
183 第一	数Ⅱ 714 数Ⅱ 715	新編数学Ⅱ 新編数学Ⅱサポートブック		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

(1) 学習者にとって理解しやすい教科書

- ・教材の配列については、生徒が無理なく理解できるよう、十分配慮した。とくに、学習内容のつながりを重視し、既習事項の確認ができるサポートブックを用意し、初出の内容の学習に主体的に取り組めるようにした。
- ・学習内容はできるだけ細分化し、段階を追って確実に知識や技能が身に付けられるようにした。
- ・天下り的な説明はできるだけ避け、具体例を通じて理解できるような記述にした。
- ・例題を解いた後に、「解法のポイント」として要点を振り返ることができるようにし、問題解決に活用できるようにした。
- ・計算の負担を軽減し、本質部分の理解に集中できるよう、十分配慮した。
- ・動的な解説や試行錯誤することが深い理解につながる場面に、スマートフォンやタブレット、パソコンで自由に利用できるコンテンツを用意した。
- ・各節の標準的な内容については繰り返し練習できるように、本冊の節末に「確認問題」、巻末に「補充問題」を設けた。
- ・巻末に、教科書で扱っている全ての問題の解答を掲載し、学習したことを確認できるようにした。

(2) 数学への興味・関心を喚起し、数学的な見方・考え方を働かせることを促す教科書

- ・本冊の章扉で、各章における学習のつながりと目標や、その章に関連するトピックを掲載した。
- ・本冊の各項目が主体的に取り組めるように「学習のねらい」を設けた。
- ・具体的な問題を解決する場面を取り上げ、数学的な見方・考え方のよさを感得できるようにした。
- ・思考力、表現力、判断力を育成するため、協働的に取り組む「考えてみよう」、「話し合ってみよう」、「説明してみよう」、「調べてみよう」を本文や節末の課題学習などに設けた。
- ・節末や章末では、理解を深めるための問題や、本文に関連する興味深い内容も扱うようにした。

(3) ビジュアル面を工夫した、読みやすい教科書

- ・ユニバーサルデザインのフォントや配色を採用し、読みやすさの向上に努めた。
- ・レイアウトを工夫して、紙面をすっきりさせた。
- ・公式などの重要事項は、太字にしたり、枠で囲んだり、表にまとめたりして、強調するようになった。
- ・本文をカラーにしたり、図版・イラスト・アミ版などを適切に掲載したりして、視覚的な効果にも配慮した。また、生徒や先生のキャラクターを登場させ、親しみやすい教科書となるようにした。
- ・本冊巻末のさくいんでは検索性を上げるため、用語に公式や図を添えた。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
1章 式と証明 1節 式と計算 2節 等式・不等式の証明 課題学習	(1) いろいろな式 ア (ア), (イ) イ (ア), (イ)	本冊 p. 3 - 28 サポートブック p. 2 - 3	16
2章 複素数と方程式 1節 複素数と方程式の解 2節 高次方程式 課題学習	(1) いろいろな式 ア (ウ), (エ), (オ) イ (ウ)	本冊 p. 29 - 50 サポートブック p. 4 - 5	13
3章 図形と方程式 1節 点と直線 2節 円の方程式 3節 軌跡と領域 課題学習	(2) 図形と方程式 ア (ア), (イ), (ウ), (エ) イ (ア), (イ)	本冊 p. 51 - 92 サポートブック p. 6 - 7	27
4章 三角関数 1節 三角関数 2節 三角関数の加法定理 課題学習	(4) 三角関数 ア (ア), (イ), (ウ), (エ) イ (ア), (イ), (ウ)	本冊 p. 93 - 128 サポートブック p. 8 - 11	23
5章 指数関数・対数関数 1節 指数関数 2節 対数関数 課題学習	(3) 指数関数・対数関数 ア (ア), (イ), (ウ), (エ) イ (ア), (イ), (ウ)	本冊 p. 129 - 154 サポートブック p. 12 - 13	16
6章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 2節 関数の値の変化 3節 積分 課題学習	(5) 微分・積分の考え ア (ア), (イ), (ウ) イ (ア), (イ), (ウ)	本冊 p. 155 - 195 サポートブック p. 14 - 15	25
計			120

※年間授業時数を 120 時間として配当している。

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102-137	高等学校	数学科	数学Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
183 第一	数Ⅱ 714 数Ⅱ 715	新編数学Ⅱ 新編数学Ⅱサポートブック		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
本冊 42	対称式と基本 対称式	2	(1) いろいろな式 「式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付 け多面的に考察すること。」	1
合計				1

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容